

令和3年1月25日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
地域保健担当理事 蔵並 貴子
宮下 明

Web 講演会開催のお知らせ

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より当会への格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、これまで鎌倉市医師会は、鎌倉市歯科医師会、かまくら地域介護支援機構と共催し、『最期まで口から食べる』をテーマとした嚥下に関する Web 講演会を3回にわたり開催してきました。

在宅医療では、誤嚥性肺炎を防ぎながら「いかに口から食べるか」が大きな課題です。

最期まで食べる喜びを感じながら生活が送れるよう、多職種が協力して嚥下評価をし、適切な食形態の選択、嚥下訓練が行えるよう鎌倉市の嚥下支援ネットワークの構築を目指しています。

このたび、第4回として、医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院の言語聴覚士 (ST)をお招きし、鶴巻温泉病院での取り組みや(訪問リハビリや多職種連携、介護医療院について)、嚥下のメカニズムのお話とともに、リハビリテーションの大きな目標である『やる気スイッチ』について症例を用いてお話していただきます。

新型コロナウイルス第三波の収束の目途が立たず、対面でのコミュニケーションが難しい状況です。

鎌倉市医師会では「有事の際でも多職種と連携が図れる体制づくり」として、Web の利用を鎌倉市とともに進めてまいりました。

Web に苦手意識のある方も、一緒に体験できるお手伝いをさせていただけたらと思いますので、ご多忙の折、誠に恐縮とは存じますが、遠慮なくお問い合わせいただき、講演会を通じ皆様と連携し、Web を活用したコミュニケーションの普及に努めてまいりたいと考えておりますので、ご参加いただければ幸いです。

なお、開催要項につきましては別紙資料をご参照ください。

皆様のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先： 鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター（鎌倉市医師会内）
電話番号 0467-81-3597（平日9：00-17：00）

Web講演会のお知らせ

在宅医療では誤嚥性肺炎を防ぎながら「いかに口から食べるか」が大きな課題です。医師も家族もどのようなものを食べさせたらよいのか？食べさせてはいけないのか…判断に悩むことが多々あります。患者さんや利用者さんが最期まで食べる喜びを感じながら生活が送れるよう、多職種が協力して嚥下評価をし、適切な食形態の選択、嚥下訓練が行えるよう鎌倉市の嚥下支援ネットワークの構築を目指して昨年からはシリーズでWEB講演会を3回行いました。今回はシリーズ第4弾として嚥下リハビリについて言語聴覚士（ST）さんをお招きし講演会を行います。コロナ禍での開催となりますので今回もWEB講演会（ZOOM）となります。今後も定期的に開催予定で、第5弾を5月頃に予定しております。

第4弾 令和3年2月22日（月）

19：30～21：00

講演タイトル

最期まで口から食べる幸せのために多職種が出来ること
～摂食嚥下障害のリハビリテーションと多職種連携～

講演内容

以前、鎌倉で訪問リハビリを行っていた医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院の言語聴覚士（ST）さんによる講演です。鶴巻温泉病院での取り組みや（訪問リハビリや多職種連携、介護医療院について）、嚥下のメカニズムのお話とともに、リハビリテーションの大きな目標である『やる気スイッチ』について症例を用いてお話していただきます。

対象

鎌倉市内の医療、介護従事者

参加申し込み

先着100名

申し込み締め切り：2月10日必着

右のQRコードまたは、
下記のURLからネット
申し込みができます
<https://bit.ly/3oGPVby>



講師：太田 有香さん

医療法人社団 三喜会
鶴巻温泉病院
言語聴覚士



氏 名：

ふりがな：

事業所名：

職 種：

参加人数：

名

メールアドレス：

*講演の前に1週間にご記入のアドレスに利用方法などをメールでお送りいたします。
お試し接続を講演前に2日間ほど設けますので初めての方も是非ご参加ください。
上記項目に必要な事項を記入しFAXしていただくかバーコードを読み取り申し込みしてください。

FAX送信先：鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター 0467-81-3695

メールアドレス：soudan@kcma.jp

主催：公益社団法人 鎌倉市医師会

共催：一般社団法人 鎌倉市歯科医師会

お問い合わせは鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター TEL:0467-81-3597まで